

□・BASF

We create chemistry

畑作用除草剤

モーティブ[®] 乳剤

特長



広範囲の畑地一年生雑草に有効!!

2成分の混合により広い範囲の雑草をカバーします。

持続効果に優れる!!

優れた残効性により長期間にわたり効果が持続します。

問題雑草を抑える!!

シロザやツクサなど問題雑草にも高い効果を示します。

作用特性

畑作除草剤定番2剤のいいところ!

フィールドスターP乳剤とゴーゴーサン乳剤の異なる成分の混合により広範囲の雑草に有効です。



フィールドスターP乳剤

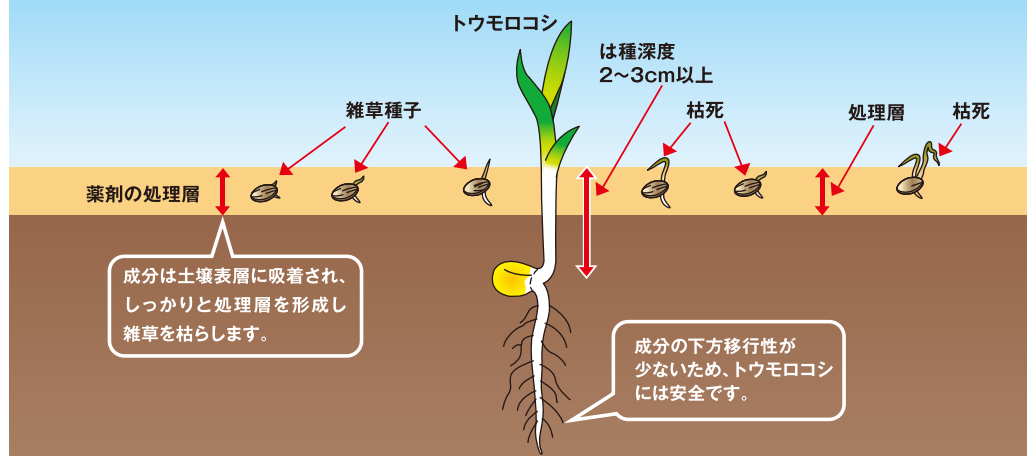
- 酸アミド系化合物で雑草の幼芽・幼根部から吸収され、蛋白質の生合成を阻害することで、雑草を枯死させます。
- スズメノテッポウ、スズメノカタビラ、メヒシバなどのイネ科雑草やカヤツリグサに顕著な活性を示し、広葉雑草ではスベリヒユ、ハコベなどに有効です。
- 雑草発芽前処理で除草効果を示します。



ゴーゴーサン乳剤

- ジニトロアニリン系化合物で雑草の幼芽・幼根部から吸収され、成長点の細胞分裂・細胞伸長を阻害することで、雑草を枯死させます。
- 一年生イネ科および広葉雑草に高い活性を示し、スズメノテッポウ、スズメノカタビラ、メヒシバなどのイネ科雑草やタデ科、ナデシコ科、ヒユ科などの広葉雑草に高い活性を示します。
- 雑草発芽前散布が基本ですが、雑草1葉期まで除草効果を示します。
- 水溶解度が小さく、土壌移行性が極めて少ない剤です。このため薬剤処理後、薬剤処理層は安定しており長期間の除草効果を示します。

■殺草メカニズム



殺草スペクトラム

薬剤	イネ科雑草			カヤツリグサ科	広葉雑草			
	スズメノカタビラ	イヌビエ	スズメノテッポウ	カヤツリグサ	コハコベ	オオツメクサ	シロザ	イヌタデ
モーティブ乳剤	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎

薬剤	広葉雑草							
	タニソバ	ナズナ	スカシタゴボウ	ツユクサ	イヌホオズキ	アオゲイトウ	エノキグサ	ノボロギク
モーティブ乳剤	◎	◎	◎	○	◎	◎	◎	◎

◎:極大 ○:大 △:やや劣る ×:劣る

2成分の作用により、スズメノテッポウ、スズメノカタビラ、イヌビエなどのイネ科から、カヤツリグサ科雑草、更にタデ科、ナデシコ科、ヒユ科、アカザ科などの広葉雑草にまで、幅広い範囲の畑地雑草に高い活性を示します。



梅シシバ



スズメノカタビラ



イヌタデ



シロザ



コハコベ



イヌホオズキ



ツユクサ



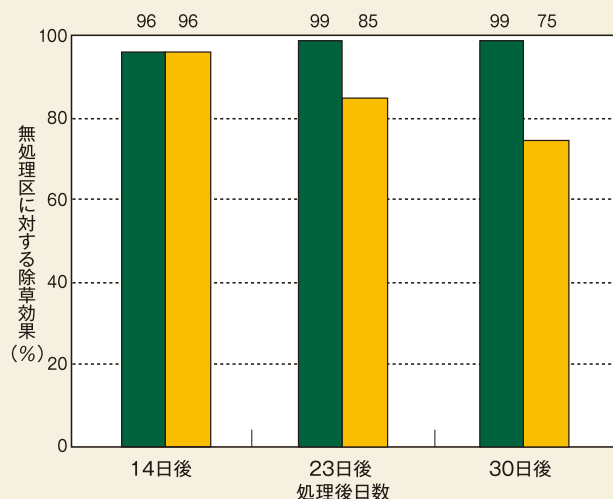
ノボロギク



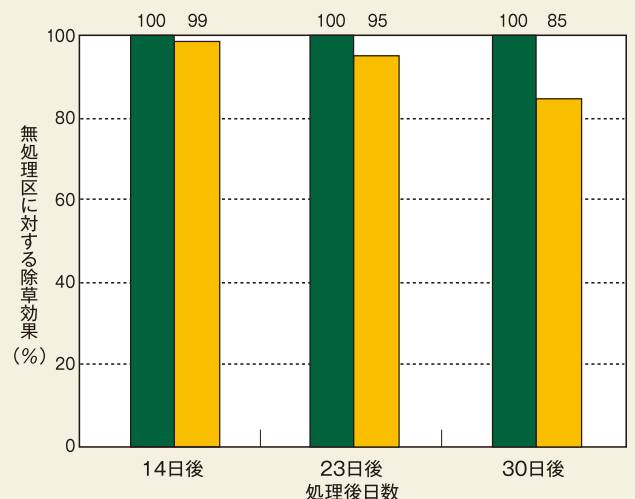
イガホビユ

各種雑草に対する効果

■ シロザ



■ ツユクサ



【試験概要】

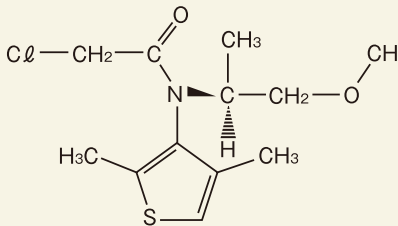
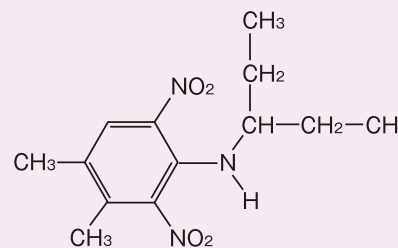
試験場所: BASFジャパン田原研究所

土性: 軽埴土 は種日: 2013年7月9日 処理日: 2013年7月10日

■: モーティブ乳剤400mℓ/10a
 ■: A乳剤500mℓ/10a

有効成分

物理化学的性状

有効成分		ジメテナミドP	ペンディメタリン
含有率		19.7%	23.1%
構造式			
物理的 化学的 性状	性状	琥珀色透明液体	暗褐色粉末固体
	融点	—	57.7~58.0℃
	蒸気圧	10 ⁻⁴ Pa(25℃)	1.25×10 ⁻³ Pa (25℃)
	水溶解度	1,174ppm (25℃)	0.23ppm (20℃)

安全性(製剤)

●人畜毒性:普通物(毒劇物に該当しないものを指すという通称)

試験の種類	動物種	LC ₅₀
急性経口毒性	ラット♀	500~2000 mg/kg
急性経皮毒性	ラット♂♀	> 5000 mg/kg
皮膚刺激性	ウサギ	刺激性あり
眼刺激性	ウサギ	刺激性あり
皮膚感作性	モルモット	感作性あり

●魚毒性

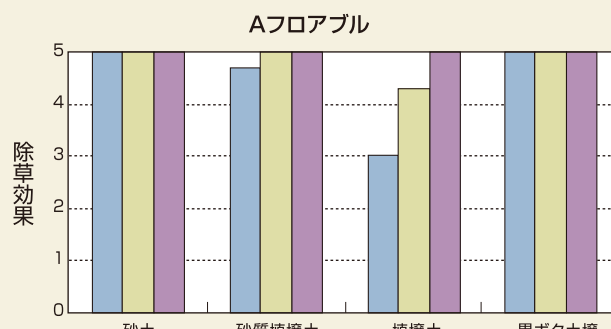
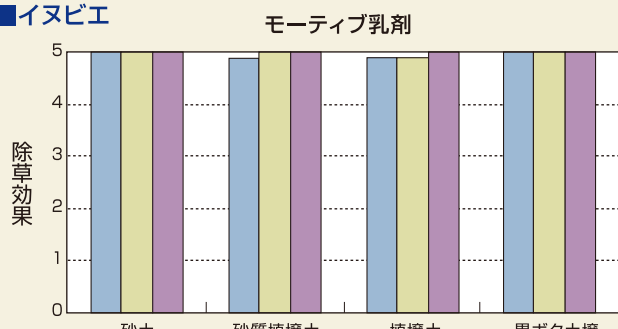
魚種など	LC ₅₀ (96hrs) 3.76mg/l
コイ	LC ₅₀ (96hrs) 3.76mg/l
オオミジンコ	EC ₅₀ (48hrs) 1.77mg/l
緑藻	ErC ₅₀ (0-72hrs) 0.46mg/l

土質・土性と効果

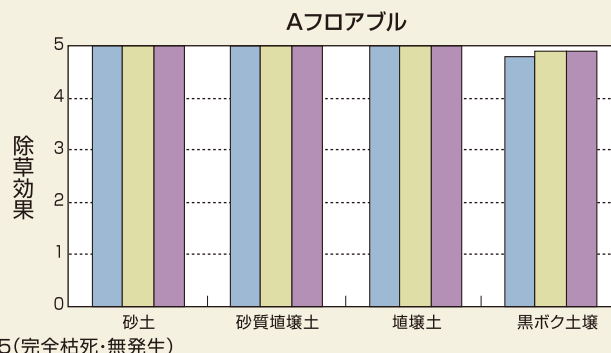
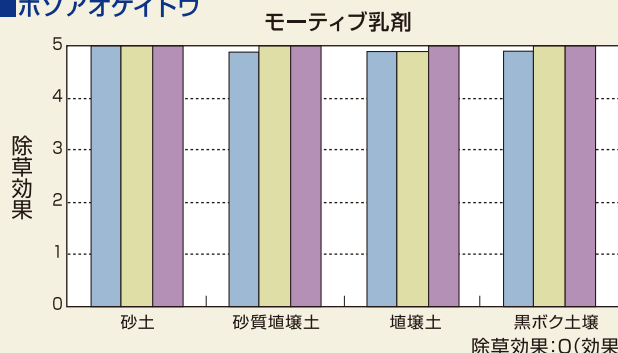
モーティブ乳剤は土質・土性によらず、安定した除草効果を示します。

(但し、薬害面から砂土での使用はさけてください。)

■イヌビエ



■ホソアオゲイトウ



油日アグリサーチ(株) (2010年)

試験方法概略

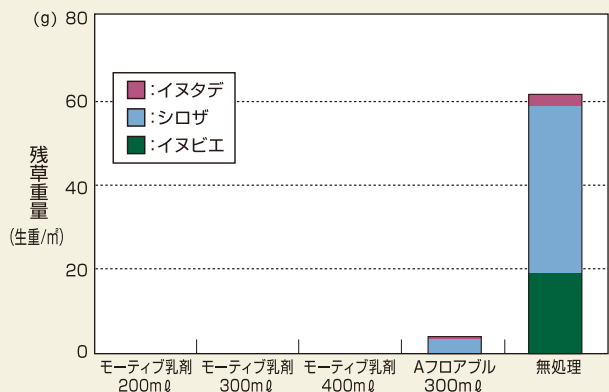
ポット試験:ポット(1/10,000a)に各土壌を入れ、イヌビエないしホソアオゲイトウを適量は種。各薬剤を土壌表面処理した。

散布水量:100ℓ/10a相当 雑草は種日:5月17日 処理日:5月17日 調査日:6月21日(処理35日後)

■:1/4量 ■:1/2量 ■:標準量(300mℓ/10a)

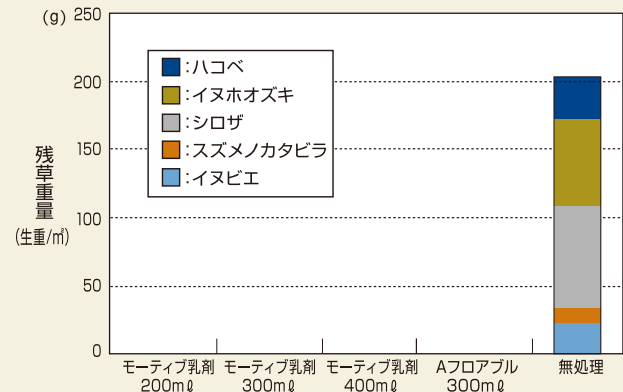
とうもろこしでの効果 (日植調委託試験成績抄)

■ 食用



日植調北海道試験地(夕張郡長沼町, 2009年)
 品 種: キャンベラ82 は種日: 5月11日
 処理日: 5月15日 とうもろこし出芽前、雑草発生前
 調査日: 6月17日(処理31日後)

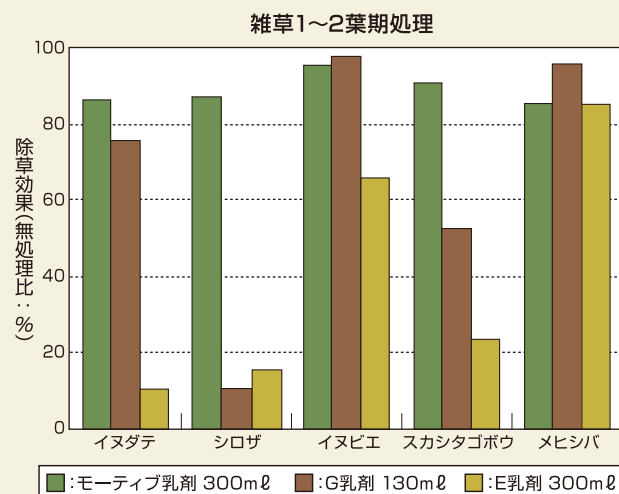
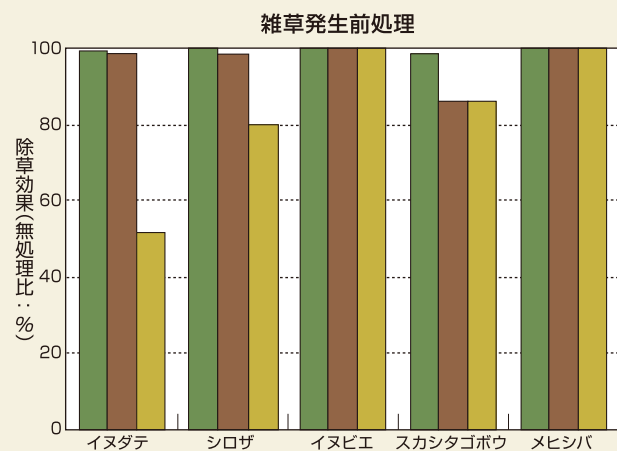
■ 飼料用



日植調北海道試験地(農家圃場, 2010年)
 品 種: バイオニア93 は種日: 5月10日
 処理日: 5月24日 出芽直前~出芽前、雑草発生前
 調査日: 6月21日(処理28日後)

とうもろこしでの効果 (BASF社内試験結果)

■ 処理時期と除草効果(2012年BASFジャパン(株)田原研究所)

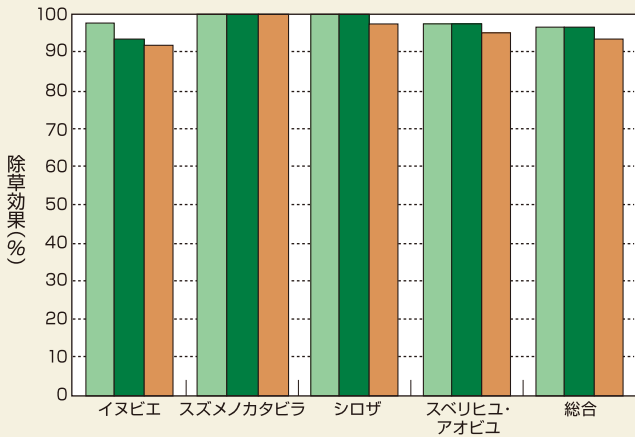


Onion



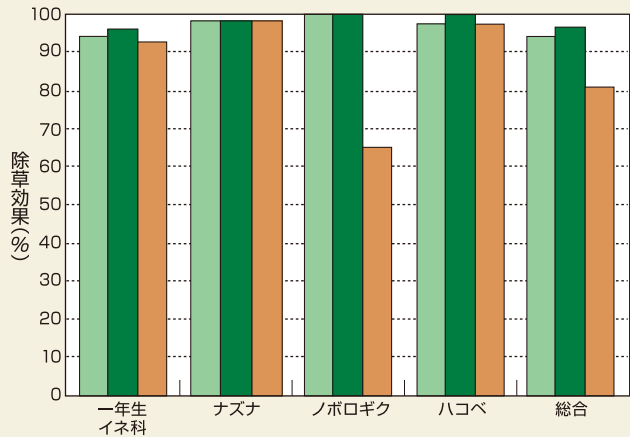
たまねぎでの効果 (日植調委託試験成績抄)

■北海道地域



平成20、21年に実施された6試験を取りまとめた。
草種毎の残草率の平均で評価した。
処理時期:定植後雑草発生前

■東北以南

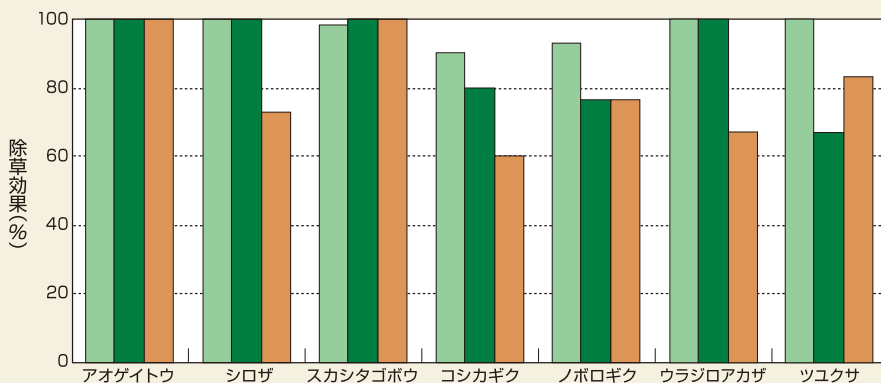


平成20、21年に実施された7試験を取りまとめた。
草種毎の残草率の平均で評価した。
処理時期:定植後雑草発生前

■:モーティブ乳剤 300mℓ ■:モーティブ乳剤 400mℓ ■:D乳剤 400mℓ



たまねぎでの効果 (BASF社内試験結果)

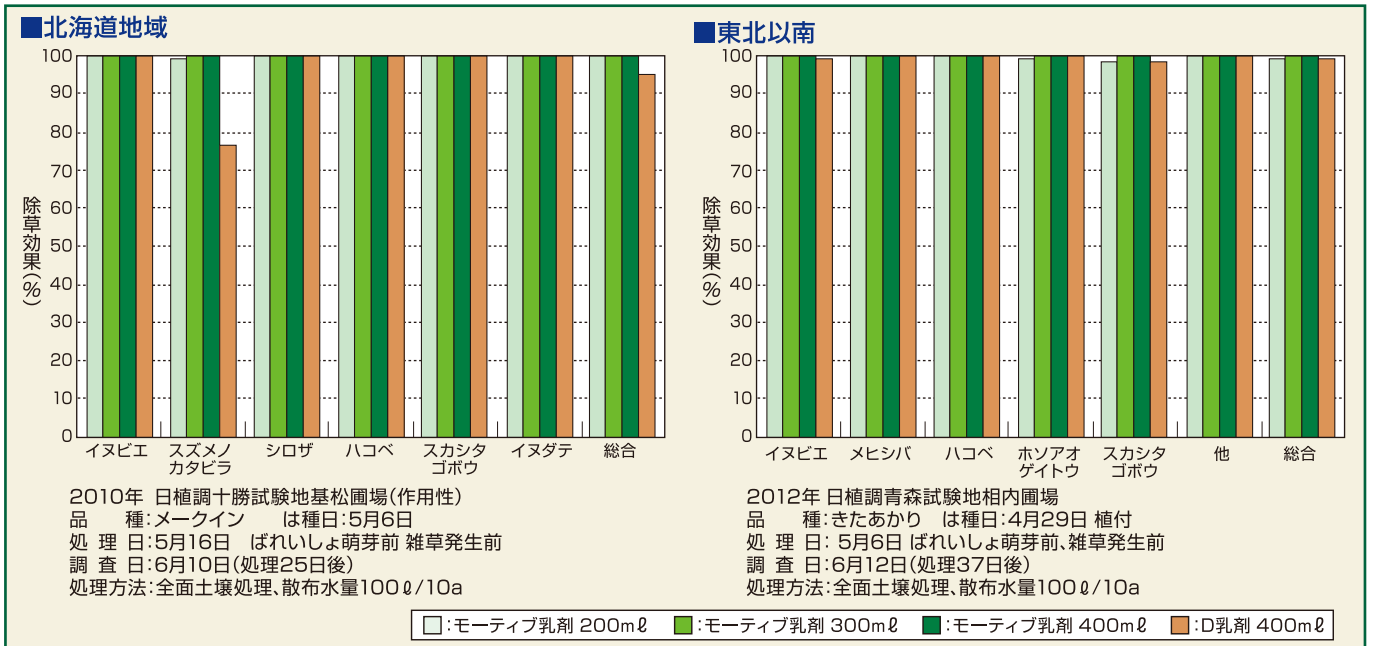


2012年 北海道訓子府町
品 種:スーパー北もみじ 移植日:5月6日
処理日:5月22日、雑草発生前 散布水量:100ℓ/10a 散布時土壌水分:適湿
調査日:7月8日(処理47日後)

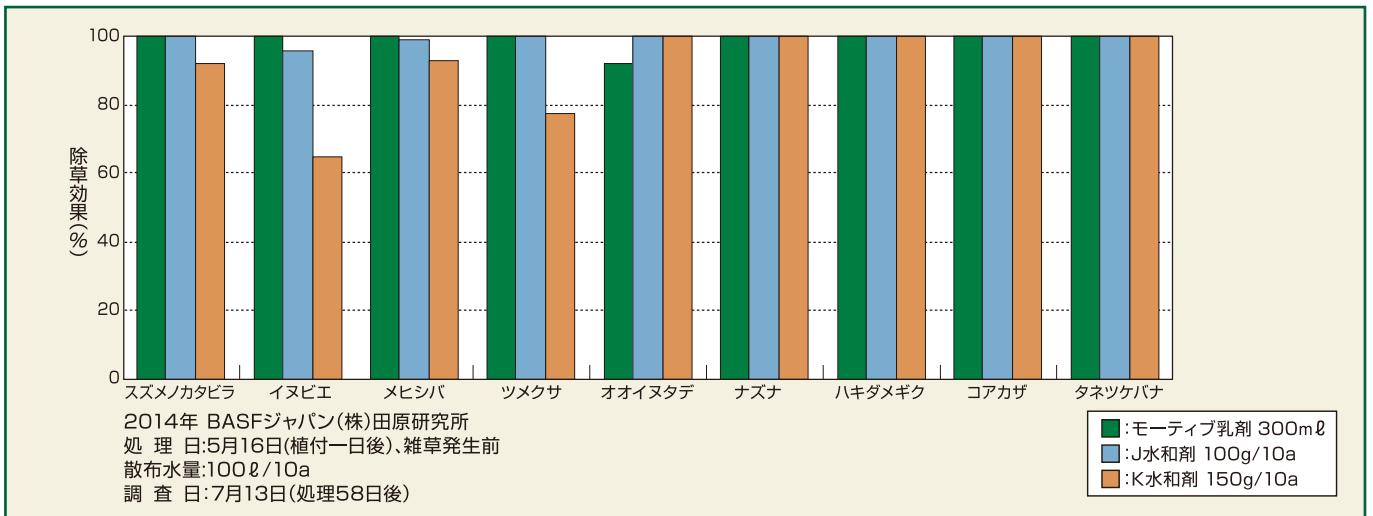
■:モーティブ乳剤 300mℓ ■:D乳剤 400mℓ ■:E乳剤 400mℓ



ばれいしょでの効果 (日植調委託試験成績抄)



ばれいしょでの効果 (BASF社内試験結果)



Potato



日植調委託試験結果概要(とうもろこし対象抜粋)

平成20年から22年までの公式委託試験より抜粋

残草率 ●:0% ○:1~10% ◯:11~30% □:31~50% △:51~70%、×:71%~
 総合評価 A0/効果:極大・薬害:なし、A1/効果:極大/薬害:微

試験年度 試験場所	品種 土壌条件 田畑の別	処理方法 処理時の状況	処理日・調査日 ()は 処理後日数	処理量 (mℓ/10a) ()内は散布水量	除草効果:対無処理区残草率 無処理()は残草重量g/m ²							薬害	総合 評点	
					イヌビエ	シロザ	スベリヒユ	スズメカサゴ			総計			
平成20年 植調北海道試験地	キャンベラ 黒ボク土・塩壌土 畑	全面土壌処理 とうもろこし出芽前 雑草発生前	5/21-6/17 (22)	(100ℓ/10a)	イヌビエ	シロザ	スベリヒユ	スズメカサゴ				総計		
				200	●	○	●	●			○	なし	A0	
				300	●	●	●	●			●	なし	A0	
				400	●	●	●	●			●	なし	A0	
				Aフロアブル 300	●	●	●	●			●	なし		
	無処理	(11.4)	(55.2)	(0.2)	(0.5)			(66.8)						
平成20年 植調鹿児島 大隈試験地	ゴールド ラッシュ 黒色火山灰壌土 畑	全面土壌処理 とうもろこし出芽前 雑草発生前	4/27-5/30 (33)	(100ℓ/10a)	メヒシバ	オヒシバ	ツメクサ	ハコベ	サケソウ	その他広葉	総計			
				200	○	●	●	○	●	●	○	なし	A0	
				300	●	●	●	●	●	●	●	なし	A0	
				400	●	●	●	●	●	●	●	なし	A0	
				B乳剤 300	○	●	○	○	○	○	○	なし		
	無処理	(220.7)	(0.4)	(89.2)	(28.9)	(15.1)	(15.9)	(370.2)						
平成21年 植調十勝試験地 褐色火山性	キャンベラ 86 砂壌土 畑	全面土壌処理 とうもろこし出芽前 雑草発生前	5/25-6/24 (30)	(100ℓ/10a)	イヌビエ	シロザ	タニソバ	イヌタデ	ハコベ	スカサゲソウ	総計			
				200	●	●	●	●	●	●	●	なし	A0	
				300	●	●	●	●	●	●	●	なし	A0	
				400	●	●	●	●	●	●	●	なし	A0	
				Aフロアブル 300	●	●	●	●	●	●	●	なし		
	無処理	(2.6)	(12.4)	(1.5)	(1.1)	(1.0)	(0.2)	(18.8)						
平成20年 植調北海道試験地	キャンベラ 黒ボク土・塩壌土 畑	全面土壌処理 とうもろこし1~2葉期 イヌビエ1.5cm・2葉期 シロザ1.0cm	5/30-6/17 (20)	(100ℓ/10a)	イヌビエ	シロザ	スベリヒユ	スズメカサゴ	イヌタデ	ナズナ	総計			
				200	●	○	●	○	●	●	○	なし	A0	
				300	●	●	●	●	●	●	●	なし	A0	
				400	●	●	●	●	●	●	●	なし	A0	
				Aフロアブル 300	●	●	●	●	●	●	●	なし		
	無処理	(4.0)	(8.9)	(4.0)	(1.2)	(0.8)	(2.9)	(20.6)						
平成20年 植調下柏田農場	おひさま コーン ゴールドテント 火山灰・壤土 普通畑	全面土壌処理 とうもろこし1~2葉期 イネ科雑草:2葉期、 広葉雑草、 カヤツリグサ:1葉期	5/24-7/8 (45)	(100ℓ/10a)	イヌビエ	メヒシバ	ホアガイト	ハキタメギク	イヌタデ	シロザ	カヤツリグサ			
				200	●	○	○	○	●	●	●	なし		
				400	●	●	○	○	●	●	●	なし		
				C乳剤 500	●	○	●	●	●	●	●	葉身褐変、葉枯		
					無処理	(387)	(464)	(1503)	(38)	(176)	(496)	(2)		
平成21年 植調十勝試験地	キャンベラ 86 褐色火山性砂壌土 畑	全面土壌処理 とうもろこし2葉期 雑草発生盛期 広葉剤無散布	5/30-6/29 (30)	(100ℓ/10a)	イヌビエ	シロザ	イヌタデ	タニソバ	ハコベ	スカサゲソウ	総計			
				200	●	●	●	●	●	●	●	なし	A0	
				300	●	●	●	●	●	●	●	なし	A0	
				400	●	●	●	●	●	●	●	なし	A0	
				Aフロアブル 300	●	●	●	●	●	●	●	なし		
	無処理	(17.1)	(47.9)	(52.4)	(19.4)	(32.4)	(12.9)	(182.1)						
平成20年 植調十勝試験地	ブリザック 褐色火山性砂壌土 畑	全面土壌処理 とうもろこし出芽前 雑草発生前	5/17-6/19 (33)	(100ℓ/10a)	イヌビエ	スカサゲソウ	タニソバ	シロザ	ハコベ		総計			
				200	●	●	●	●	●		●	なし	A0	
				300	●	●	●	●	●		●	なし	A0	
				400	●	●	●	●	●		●	なし	A0	
				Aフロアブル 300	●	●	●	●	●		●	なし		
	無処理	(1.1)	(14.8)	(7.2)	(7.7)	(5.0)		(35.8)						
平成20年 新潟農総研 畜産研究センター	サイレージ コーン NS105 壤土 畑	全面土壌処理 とうもろこし出芽前 雑草発生前	4/21-6/5 (45)	(100ℓ/10a)	イヌビエ	シロザ	ハルジオン	サナエタデ	イヌタデ		総計			
				200	○	●	●	●	●		○	なし	A0	
				300	●	●	●	●	●		●	なし	A0	
				400	●	●	●	●	●		●	なし	A0	
				D乳剤 300	○	●	●	●	●		○	なし		
	無処理	(1223.2)	(0.6)	(7.2)	(4.5)	(1.8)		(1237.3)						
平成21年 道立畜産試験場	バイオニア デント 39B29 塩土 畑	全面土壌処理 とうもろこし出芽前 ヒエ4cm、 シロザ3cm タデ4cm、 キレハイヌガラシ7cm	6/10-7/14 (34)	(100ℓ/10a)	イヌビエ	タデ	シロザ	他	(乳イヌタデ)		総計	程度		
				200	●	○	○	○	×		○	なし	A0	
				300	●	○	○	□	□		○	なし	A0	
				400	●	○	○	□	○		○	なし	A0	
				Aフロアブル 300	○	○	●	○	×		○	なし		
	無処理	(1.0)	(46.5)	(10.5)	(12.4)	(69.0)		(70.4)						
平成20年 植調十勝試験地	ブリザック 褐色火山性砂壌土 畑	全面土壌処理 とうもろこし2葉期 イヌビエ2葉期、シロザ2葉期 イヌタデ2葉期、ハコベ2葉期 タニソバ1葉期	6/3-7/1 (28)	(100ℓ/10a)	イヌビエ	スカサゲソウ	タニソバ	シロザ	ナズナ	イヌタデ	総計			
				200	●	●	●	○	●	●	●	なし	A0	
				300	●	●	●	○	●	●	●	なし	A0	
				400	●	●	●	●	●	●	●	なし	A0	
				Aフロアブル 300	●	●	●	●	●	●	●	なし		
	無処理	(6.8)	(15.2)	(50.2)	(13.3)	(12.5)	(12.8)	(110.8)						
平成21年 植調北海道試験地	バイオニア 93 黒ボク土・塩壌土 畑	全面土壌処理 とうもろこし2葉期 イヌビエ1cm・1葉期 ハコベ1cm・2葉期 イヌホオズキ0.5cm・2葉期 ナズナ3cm・3葉期	5/29-6/17 (19)	(100ℓ/10a)	イヌビエ	ハコベ	スズメカサゴ	スベリヒユ	イヌホオズキ		総計			
				200	●	●	●	●	●		●	なし	A0	
				300	●	●	●	●	●		●	なし	A0	
				400	●	●	●	●	●		●	なし	A0	
				Aフロアブル 300	●	●	●	●	●		●	なし		
	無処理	(4.0)	(60.0)	(13.7)	(9.7)	(5.9)		(93.3)						
平成21年 植調研究所	ゴールド デント KD660 火山灰・壤土 (やや乾) 普通畑	全面土壌処理 とうもろこし1.2葉期 雑草発生始	5/27-6/25 (29)	(100ℓ/10a)	メヒシバ	イヌビエ	イヌタデ	ハキタメギク	ホアガイト	ナズナ	総計	程度		
				200	●	●	●	○	○	○	○	微	A1	
				300	●	●	●	●	●	●	●	微	A1	
				400	●	●	●	●	●	●	●	微	A1	
				Aフロアブル 200	○	●	○	○	○	○	○	なし		
	無処理	(97)	(93)	(150)	(152)	(50)	(30)	(611)						



日植調委託試験結果概要 (たまねぎ対象抜粋)

平成20年から21年までの公式委託試験より抜粋

残草率 ●:0% ○:1~10% ○:11~30% □:31~50% △:51~70% ×:71%~
 総合評価 AO/効果:極大・薬害:なし、A1/効果:極大/薬害:微

試験年度 試験場所	品種 土壌条件	処理方法 処理時の状況	処理日・調査日 ()は 処理後日数	処理量 (m ² /10a) ()内は散布水量	雑草残草量(無処理区:g/10a)、除草効果										抑草 期間	薬害 程度	総合 評点
					イヌビエ	スズメカタビラ	アカザ	コアカザ	ギシギシ	ハラメツサ	他	総計					
平成20年 北海道 花・野菜 技術センター	北もみじ 2000 灰色台地 土壌土(適湿)	全面土壌処理 たまねぎ定植後 雑草発生前	5/16-6/18 (33)	(100ℓ/10a)	イヌビエ	スズメカタビラ	アカザ	コアカザ	ギシギシ	ハラメツサ	他	総計					
				200	●	●	●	○	●	●	×	○	33	なし	AO		
				300	●	●	●	●	●	●	●	●	73	なし	AO		
				400	●	●	●	●	●	●	●	●	83	なし	AO		
				D乳剤 300	□	●	○	○	●	●	□	○	31	なし			
無処理	(1.9)	(0.6)	(65.2)	(15.1)	(2.6)	(1.1)	(1.2)	(87.7)									
平成20年 北見農試	スーパー 北もみじ 火山性土 壤土	全面土壌処理 たまねぎ定植後 雑草発生前	5/5-6/10 (36)	(100ℓ/10a)	イヌビエ	タデ	アオビユ	スカシゴボウ	他	総計							
				200	●	○	○	●	●	○	31	なし	A2				
				300	●	○	○	●	●	○	31	なし	AO				
				400	●	○	○	●	●	○	36	なし	AO				
				D乳剤 400	●	●	○	●	●	○	36	なし					
無処理	(1.0)	(180.0)	(7.2)	(7.8)	(9.7)	(206.0)											
平成21年 北海道農業 研究センター 園芸センター	北もみじ 2000 淡色黒ボク土	全面土壌処理 たまねぎ定植後 雑草発生前	5/8-6/18 (40)	(100ℓ/10a)	イヌビエ	ツメクサ	ハコベ	スベリヒユ	シロザ	総計		程度					
				200	●	●	●	●	●	●	40	なし	AO				
				300	●	●	●	●	●	●	40	なし	AO				
				400	●	●	●	●	●	●	40	なし	AO				
				D乳剤 400	●	○	●	○	●	○	35	なし					
無処理	(3.1)	(1261.0)	(146.0)	(7.5)	(15.8)	(1433.0)											
平成21年 北見農試	北もみじ 2000 灰色低地土 壤土	全面土壌処理 たまねぎ定植後 雑草発生前	5/20-6/26 (37)	(100ℓ/10a)	イヌビエ	スズメカタビラ	シロザ	イヌビエ	スベリヒユ	タデ	スカシゴボウ	総計					
				200	●	○	●	●	●	●	●	40	なし	A2			
				300	●	●	●	●	●	●	●	40	なし	AO			
				400	●	●	●	●	●	●	●	40	なし	AO			
				D乳剤 400	●	●	●	●	●	●	●	40	なし				
無処理	(54.7)	(3.2)	(182.8)	(360.7)	(285.0)	(83.3)	(35.0)	(1004.7)									
平成20年 愛知県農業 総合試験場	さつき 洪積砂壤土	全面土壌処理 たまねぎ定植後 雑草発生前	11/20-1/9 (50)	(100ℓ/10a)	スズメカタビラ	スズメカタビラ	ホトケノザ	ハコベ	イヌガラシ	その他	総計						
				200	○	○	○	○	●	●	○	60	なし	AO			
				300	○	○	○	○	●	●	○	60	なし	AO			
				400	○	○	●	●	●	●	○	>60	なし	AO			
				D乳剤 300	○	○	○	○	○	○	○	28	なし	A1			
無処理	(3.8)	(1.8)	(11.7)	(1.5)	(1.2)	(0.5)	(20.5)										
平成20年 佐賀県農業 試験研究 センター	もみじ3号 白石分場 壇壤土	全面土壌処理 たまねぎ定植後 雑草発生前	12/19-3/10 (81)	(100ℓ/10a)	スズメカタビラ	スズメカタビラ	ホトケノザ	マツバゼリ	ナスナ	その他	総計						
				200	●	●	●	●	●	●	●	81	なし	AO			
				300	●	●	●	●	●	●	●	81	なし	AO			
				400	●	●	●	●	●	●	●	81	なし	AO			
				D乳剤 300	●	●	●	●	●	●	●	81	なし	AO			
無処理	(2.0)	(0.5)	(28.0)	(1.0)	(4.0)	(1.0)	(36.5)										
平成20年 沖縄県農業 研究センター	F50 ジャーガル 重粘土	全面土壌処理 たまねぎ定植後 雑草発生前	11/5-3/10 (126)	(100ℓ/10a)	スズメカタビラ	イヌビエ	セイバモロシ	アカザ	セウカチシホ	ウスベニガナ	その他	総計					
				200	●	●	●	○	●	●	●	○	60	なし	A1		
				300	●	●	●	●	●	●	●	●	120	なし	AO		
				400	●	●	●	●	●	●	●	●	120	なし	AO		
				F乳剤 300	●	●	●	●	●	×	○	□	60	なし	BO		
無処理	(1.0)	(2.5)	(0.3)	(149.0)	(7.8)	(116.0)	(48.0)	(337.0)									
平成21年 兵庫県淡路 農業技術 センター	ターザン 洪積壇壤土	全面土壌処理 たまねぎ定植後 雑草発生前	12/22-4/1 (100)	(100ℓ/10a)	スズメカタビラ	イネ科他	ナスナ	タネツバケ	他	総計							
				200	○	●	○	□	○	○	60	なし	A1				
				300	○	●	○	○	○	○	80	なし	AO				
				400	○	●	○	○	●	○	100	なし	AO				
				D乳剤 300	○	●	○	□	○	○	60	なし	A1				
無処理	(41.0)	(1.0)	(164.0)	(22.0)	(1.0)	(227.0)											
平成21年 和歌山県 農林水産 総合技術 センター 農業試験場	さつき 洪積壇壤土	全面土壌処理 たまねぎ定植後 雑草発生前	12/1-2/17 (78)	(100ℓ/10a)	スズメカタビラ	ヤエムグラ	ホトケノザ	ナスナ	ノボロギク	総計							
				200	●	○	●	●	●	○	80	なし	AO				
				300	○	○	●	●	●	○	80	なし	AO				
				400	●	○	●	●	●	○	80	なし	AO				
				D乳剤 300	●	□	●	●	△	□	40	なし	BO				
無処理	(2.4)	(354.1)	(44.9)	(4.5)	(0.8)	(406.7)											
平成21年 福岡県農業 総合試験場	ターボ 洪積壇壤土	全面土壌処理 たまねぎ定植後 雑草発生前	11/30-3/17 (107)	(100ℓ/10a)	スズメカタビラ	シロイ対ナ	ハコベ	ナスナ	他	総計							
				200	●	●	●	●	○	○	107	なし	AO				
				300	●	○	●	●	○	○	107	なし	AO				
				400	●	●	●	●	○	○	107	なし	AO				
				D乳剤 300	●	●	●	●	×	○	107	なし	AO				
無処理	(2.9)	(234.8)	(57.2)	(35.9)	(38.2)	(369.1)											



日植調委託試験結果概要 (ばれいしょ対象抜粋)

平成22年から25年までの公式委託試験より抜粋

残草率 ●:0% ○:1~10% ○:11~30% □:31~50% △:51~70% ×:71%~
 総合評価 A0/効果:極大・薬害:なし、A1/効果:極大/薬害:微

試験年度 試験場所	品種 土壌条件	処理方法 処理時の状況	処理日・調査日 ()は 処理後日数	処理量 (mL/10a) ()内は散布水量	除草効果:対無処理区残草率 無処理()は残草重量g/10a										薬害	総合 評価		
					イヌビエ	スズメカササ	シロガアガ	ハコベ	ハラツメガ								総計	
平成22年 植調北海道試験 地	メークイン 黒ボク土・ 壇壤土	全面土壌処理 ばれいしょ植付後 萌芽前 雑草発生前	5/9-6/29 (51)	(100ℓ/10a)	●	●	●	●	●							●	なし	A0
				200	●	●	●	●	●							●	なし	A0
				300	●	●	●	●	●							●	なし	A0
				400	●	●	●	●	●							●	なし	A0
				D乳剤30 300	●	●	●	●	●							●		
				無処理	(52.0)	(11.2)	(687.2)	(369.7)	(13.8)					(1133.9)				
平成22年 植調十勝試験地 基松園場	メークイン 黒色火山灰・ 壇壤土	全面土壌処理 ばれいしょ植付後 萌芽前 雑草発生前	5/16-6/10 (25)	(100ℓ/10a)	●	○	●	●	●	●	●	●				●	なし	A0
				200	●	○	●	●	●	●	●	●				●	なし	A0
				300	●	○	●	●	●	●	●	●				●	なし	A0
				400	●	○	●	●	●	●	●	●				●	なし	A0
				D乳剤30 300	●	○	●	●	●	●	●	●				○		
				無処理	(3.4)	(11.5)	(13.0)	(11.4)	(3.3)	(6.9)				(49.5)				
平成23年 植調青森試験地	キタアカリ 火山灰土壌・ 砂壤土	全面土壌処理 ばれいしょ植付後 萌芽前 雑草発生前	5/11-6/18 (38)	(100ℓ/10a)	●	●	●	●	●	●	●	●				●	なし	A0
				200	●	●	●	●	●	○	●	●				○	なし	A0
				300	●	●	●	●	●	●	●	●				●	なし	A0
				400	●	●	●	●	●	●	●	●				●	なし	A0
				D乳剤300	●	●	●	●	●	○	●	●				○		
				無処理	(2.4)	(7.8)	(275.8)	(64.8)	(40.0)	(12.6)				(403.4)				
平成23年 植調研究所	デジマ 火山灰・ 壇壤土	全面土壌処理 ばれいしょ植付後 萌芽前 雑草発生前	8/26-9/26 (31)	(100ℓ/10a)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	なし	A0
				200	●	●	●	●	●	○	●	●	●	●	●	●	なし	A0
				300	●	●	●	●	●	○	●	●	●	●	●	●	なし	A0
				400	●	●	●	●	●	○	●	●	●	●	●	●	なし	A0
				D乳剤300	●	●	●	●	●	○	●	●	●	●	●	○		
				無処理	(96.3)	(52.4)		(498.4)		(76.9)	(250.3)	(299.1)		(1289.3)				
平成23年 植調鹿島 大隅試験地	ニシユタカ 黒色火山灰・ 壤土	全面土壌処理 ばれいしょ植付後 萌芽前 雑草発生前	9/5-10/11 (36)	(100ℓ/10a)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	なし	A2
				200	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	なし	A0
				300	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	なし	A0
				400	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	なし	A0
				H乳剤300	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
				無処理	(14.5)	(5.1)	(1.8)	(34.1)	(21.8)	(17.0)	(12.7)		(107.0)					
平成23年 鹿島島農 業開発 総合センター 熊毛支場	ニシユタカ 赤黄色土	全面土壌処理 ばれいしょ植付後 萌芽前 雑草発生前	10/26-12/1 (36)	(100ℓ/10a)	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	なし	A0	
				200	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	なし	A0	
				300	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	なし	A0	
				400	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	なし	A0	
				D乳剤300	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
				無処理	(2.3)	(23.5)	(15.9)	(0.9)	(2.2)				(44.9)					
平成24年 道立総合研究機構 十勝農業試験場	男爵薯 乾性火山性土・ 砂壤土	全面土壌処理 ばれいしょ植付後 萌芽前 雑草発生前 (タデ子葉)	5/21-6/27 (37)	(100ℓ/10a)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	微	A1	
				200	●	●	●	●	●	○	●	●	●	●	●	微	A1	
				300	●	●	●	●	●	○	●	●	●	●	●	微	A1	
				400	●	●	●	●	●	○	●	●	●	●	●			
				D乳剤300	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
				無処理	(6.8)	(0.3)	(0.9)	(5.1)	(7.1)	(1.0)			(21.2)					
平成24年 道立総合研究機構 北見農業試験場	とうや 火山性土・ 砂壤土	全面土壌処理 ばれいしょ植付後 萌芽前 雑草発生前	5/29-7/2 (34)	(100ℓ/10a)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	なし	A0	
				200	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	なし	A0	
				300	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	なし	A0	
				400	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	なし	A0	
				D乳剤300	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
				無処理	(8.3)	(6.5)	(13.1)	(1.7)					(29.6)					
平成24年 植調青森試験地	キタアカリ 洪積・壇壤土	全面土壌処理 ばれいしょ植付後 萌芽前 雑草発生前	5/6-6/12 (37)	(100ℓ/10a)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	なし	A0	
				200	●	●	●	●	●	○	●	●	●	●	●	なし	A0	
				300	●	●	●	●	●	○	●	●	●	●	●	なし	A0	
				400	●	●	●	●	●	○	●	●	●	●	●	なし	A0	
				D乳剤300	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
				無処理	(7.2)	(28.7)	(363.8)	(50.5)	(134.7)	(79.5)			(664.4)					
平成24年 植調岡見園場	キタアカリ 火山灰・壇壤土	全面土壌処理 ばれいしょ植付後 萌芽前 雑草発生前	3/29-5/16 (48)	(100ℓ/10a)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	なし	A0	
				200	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	なし	A0	
				300	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	なし	A0	
				400	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	なし	A0	
				D乳剤300	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
				無処理	(2.3)	(450.6)	(25.2)	(18.9)	(15.6)	(1.2)			(514)					
平成24年 鹿島島農 業開発 総合センター 熊毛支場	ニシユタカ 黒ボク土・壇 壤土	全面土壌処理 ばれいしょ植付後 萌芽前 雑草発生前	10/10-11/9 (30)	(100ℓ/10a)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	なし	A0	
				200	●	●	●	●	●	○	●	●	●	●	●	なし	A0	
				300	●	●	●	●	●	○	●	●	●	●	●	なし	A0	
				400	●	●	●	●	●	○	●	●	●	●	●	なし	A0	
				D乳剤300	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
				無処理	(0.2)	(0.8)	(0.3)	(9.7)	(9.8)	(0.4)			(21.2)					
平成25年 道立総合研究機構 北見農業試験場	とうや 火山性土・ 砂壤土	全面土壌処理 ばれいしょ植付後 萌芽前 雑草発生前	5/20-6/20 (31)	(100ℓ/10a)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	なし	A0	
				200	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	なし	A0	
				300	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	なし	A0	
				400	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	なし	A0	
				D乳剤300	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
				無処理	(1.4)	(4.9)	(1.3)						(16.9)					
平成25年 植調北海道試験地	メークイン 黒ボク土・ 砂壤土	全面土壌処理 ばれいしょ植付後 萌芽前 雑草発生前	5/14-6/19 (36)	(100ℓ/10a)	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	なし	A0	
				200	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	なし	A0	
				300	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	なし	A0	
				400	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	なし	A0	
				D乳剤300	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
				無処理	(0.4)	(4.4)	(13.6)	(43.8)	(44.2)	(0.8)	(0.0)		(107.2)					

上手な使い方

効果に関する注意

耕起・整地：砕土が十分でなく、大きな土塊や極端に粗雑に整地された畑では均一なモーティブ乳剤の処理層ができず、雑草が発生しやすくなります。土塊はなるべく細かく砕いてください。

薬害に関する注意

- マルチ栽培**：本剤はとうもろこしのマルチ栽培では薬害を生じる恐れがあるので、マルチ栽培での使用はさけてください。
- 浅播き**：播種深度が浅いと薬剤が作物に接触する恐れがあるので、覆土深は2~3cm以上にしてください。
- 土壤水分(過湿条件)**：排水不良畑は湿害が生じやすく、薬剤の影響を受けやすいので注意してください。
- 処理後の多量の降雨**：処理後まもない多量の降雨では、有効成分が下方に移動し、作物の根部や幼芽部に接触しやすくなるので、処理直後に多量の降雨が予測される場合は使用をさけてください。
- 土質・土性**：砂壤土など砂質がかった畑では土壌の薬剤吸着性が弱くなり、薬剤の影響を受けやすいので注意してください。また砂土では使用をさけてください。
- ドリフト**：本剤は水稻、小麦、大豆、キャベツなどに薬害を生じさせるので、周辺に他作物が栽培されている場合はドリフトに注意してください。

適用雑草と使用方法

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量		本剤の使用回数	使用方法	ジメテナミド及びジメテナミドPを含む農薬の総使用回数	ベンディメタリンを含む農薬の総使用回数
			薬量	希釈水量				
とうもろこし	一年生雑草	は種後~ とうもろこし 2葉期 (イネ科雑草) (2葉期まで)	200~ 400mℓ /10a	100~150ℓ /10a	1回	全面 土壤 散布	1回	1回
飼料用 とうもろこし		定植前 (雑草発生前)		100ℓ /10a				
たまねぎ		定植後 (雑草発生前) 但し、定植45日後まで		70~150ℓ /10a				
ばれいしょ		植付後萌芽前 (雑草発生前)	300mℓ /10a					
かのごそう		定植後 (雑草発生前) 但し、収穫90日前まで						

本資料の記載内容は2020年10月現在のものです。

△ 使用上の注意事項

△ 効果・薬害等の注意

- 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきってください。
- 砂土では使用しないでください。
- 雑草の生育が進むと効果が劣るので、必ず時期を失ないように散布してください。
- 散布直後の多量の降雨は薬害のおそれがあるので、天候を見きわめてから散布してください。
- 砕土、整地はていねいに行い、種子が露出しないように覆土はできるだけていねいに行い、覆土深を2~3cm以上にしてください。
- 本剤はとうもろこしのマルチ栽培では薬害を生じるおそれがあるので使用しないでください。
- たまねぎの定植前に使用する場合には、初期に生育抑制を生じることがあるので散布むらを生じないように均一に散布してください。
- 散布に当たっては、他作物に飛散しないよう十分注意して使用してください。
- 散布に使った器具類は良く水洗いして、他の用途に使用する時は影響のないように注意してください。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には病害虫防除所等関係機関の指導を受けてください。

魚毒性等

- 使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきってください。散布器具、容器の洗浄水は河川等に流さないでください。また、空容器などは水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。

△ 安全使用上の注意

- 誤飲などのないよう注意してください。
- 誤って飲み込んだ場合には吐かせないで、直ちに医師の手当を受けさせてください。本剤使用中に身体に異常を感じた場合には直ちに医師の手当を受けてください。
- 本剤は眼に対して刺激性があるので眼に入らないよう注意してください。
- 眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください。
- 本剤は皮膚に対して刺激性があるので皮ふに付着しないように注意してください。
- 付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落とすしてください。
- 散布の際は農業用マスク、不浸透性手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、洗眼・うがいをするとともに衣服を交換してください。
- 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯してください。
- かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意してください。
- 本剤は自動車や壁などの塗装面に散布液がかかると変色するおそれがあるので、散布液がかからないよう注意してください。
- 漏出時は、保護具を着用し布・砂等に吸収させ回収してください。
- 移送取扱いはていねいに行ってください。

保管

- 火気を避け、食品と区別して、直射日光が当たらない低温な場所に密栓して保管してください。

1.使用前にラベルをよく読んでください。2.ラベルの記載以外には使用しないでください。3.小児の手の届く所には置かないでください。4.使用後の空容器は圃場などに放置せず、環境に影響のないよう適切に処理してください。5.防除日誌を記帳しましょう。

BASFジャパン株式会社

〒103-0022 東京都中央区日本橋室町3丁目4番4号 OVOL日本橋ビル3階
☎0120-014-660 <https://crop-protection.basf.co.jp/>